

あれYA!これYA!なんYA!ティーンズ通信

2026

NO.27 (2026年1月)

発行: 羽曳野市立陵南の森図書館



冬のアート特集 今年の干支 馬の本

*戦火の馬 マイケル・モーパーク Nモバ 評論社

戦争の最前線に送られた馬は、飼い主の少年のもとに帰るために戦場を駆け抜ける。映画の原作になった本。

*ケルトの白馬 ローズマリー・サトクリフ Nサト ほるぷ出版

イギリスにある巨大な白馬の地上絵はなぜ、どのようにして描かれたのか! 古代ケルトの時代の物語。

*ブライアーヒルの秘密の馬 メガン・シェパード Nシエ 小峰書店

鏡の向こうの世界が見える少女は、ある日、傷ついたペガサスが病院の庭にいるのが見えた。守ってほしいと乞われるが…。

*馬と生きる 澄川 嘉彦 38 福音館書店

遠野では、今でも人と馬が生活を共にする習慣がある。

危険で過酷な仕事は互いの信頼がなによりも大事なことで…。

*にしきのなかの馬 やえがし なおこ E白二 童心社

いつも一緒にいた大切な馬が売られてしまった。探す決意をした時、馬は娘にある願いを伝えた。はたして無事に帰ってくれるのか。



すみきちのちょっとひとこと

あっという間に新しい年になりました。年々時間が早く過ぎていくのは、自分が歳をいくからでしょうか。

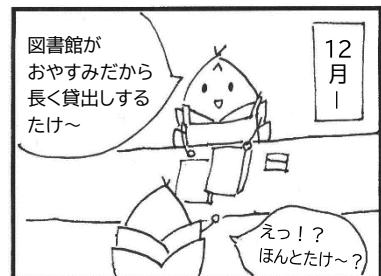
若かりし頃は、1日がとても長く感じたものでしたが時間といふものは残酷に過ぎていくんですね。ティーンズの皆さんはどうな風に感じていますか? 今ある時間を有意義に過ごせていますか? そのうちにやろうと思って後回しにしていませんか? 「今やろうと思ってたのに~」と言わなくてすむように今できる事は、今やっておきましょう。冬休みの宿題はもう終わりましたか? まだの人! いつやるの! 今でしょ。ですよ(笑)

評論社

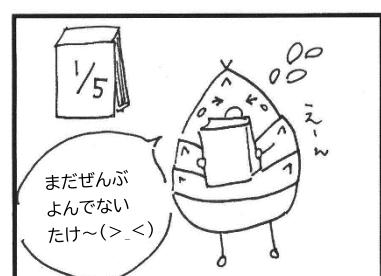
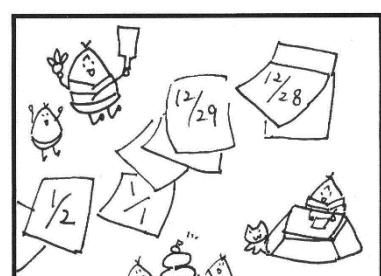
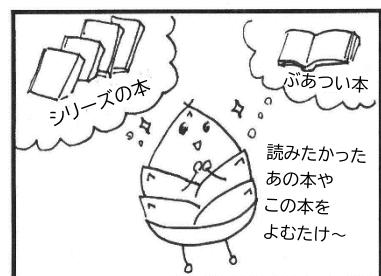
新年が明けたということで、
今年の干支「馬」にちなんだ本です。



たけのこのひのむき



12月
1





職業体験の中学生おすすめの本



タイトル: マジック・ツリーハウス

著者: エドワード・オズボーン 出版社: 株式会社KADOKAWA

おすすめポイント

シリーズかわいい

なん回読んでもあきない

主人公はいかがくの国にいってそれをかいがつする

タイトル: オガミ族の少年

著者: ミシェル・ペイヴォー 出版社: 評論社

おすすめポイント

主人公トライとウルフが生きる力をヒントにほりけん
おもてきわなか深くなっこいのが見どころです

タイトル: くりむパン

著者: 濱野 京子 出版社: くもん出版

おすすめポイント

小学4年生の香里が、父の仕事の都合で

家に来た同じ年の親戚の未果と、友情を

築いていく物語です。

タイトル: ケモノたちがはじる道

著者: 黒川 祐子 出版社: 静山社

おすすめポイント

都会育ちでゲーム好きの中学生1年生の少女、千里が

熊本の祖父のもとでわな猿を休験する。

命について深く考えられる物語です。

タイトル: JC 紫式部

著者: 石崎 洋司 出版社: 講談社

おすすめポイント

平安時代に流行っていたものや、歴史、行事や

習慣などを知ることができます。おもしろいです。

平安時代についてもっと知りたいという気持ちになります。

タイトル: モモ

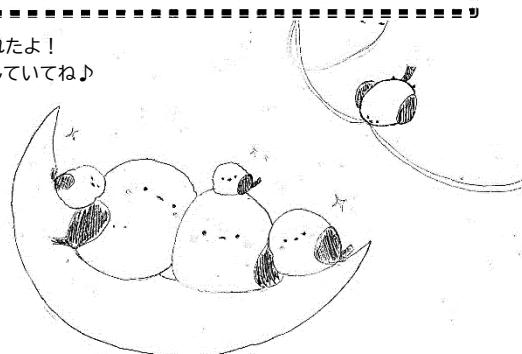
著者: ミヒャエル・エンデ 出版社: 岩波書店

おすすめポイント

「モモ」という女の子が、時間どうぼうの「灰色の
男たち」から盗まれた時間をとり戻そうと奮闘
する物語です。時間とは何かを考えさせられる
作品です。



イラストも職業体験に来てくれた中学生が描いてくれたよ!
次回のYA通信にもイラストを載せるから楽しみにしていてね♪



Nana 漫画家